

話す、聞く、食べるという人の生活の根幹を支えることが言語聴覚士の仕事です。



伊賀美結さん(1998年生まれ)

浜松南高校出身
聖隸クリストファー大学 リハビリテーション学部
言語聴覚学科卒業

浜松医科大学医学部附属病院

浜松市東区半田山1-20-1
<https://www.hama-med.ac.jp/hos/>

との関わり方などを学びました
——仕事について
「浜松医科大学医学部附属病院に就職しました。最初は病院の流れを掴むところから私は、脳卒中の方や認知機能がよくない方を診ることが多くかったです。自分本位ではなく、相手のことを知ろうとする気持ち

「バスケ部」に所属し、部活中心の生活を送りました。部活をやっていたことがリハビリ業界に興味をもつたきっかけです。調べていくうちに言語聴覚士という仕事を知りました。話す、聞く、食べるといった人の生活に欠かせない部分のリハビリに関わることに惹かれました。卒業後、聖隸クリストファー大学の言語聴覚学科に進学しました

大学時代について教えてください。

「1年次は、解剖学や言語発達学などの基礎を学びました。2年次からは、失語症学や聴覚障害学を学

「まったくこの飯が食べられない食べられなかつた」と、患者さんと訓練を行ない食べられるようになつて退院されたとき。失語症状が強い患者さんから言葉が出たとき。患者さんの状態がよくなつたとき、「ありがとう!」という言葉をいただいたり、感謝の手紙をいただいたりするとやりがいを感じます

て、話す、聞く、食べるという生活の根幹を支えることが言語聴覚士の仕事です。最初は、患者さんの状態を評価することから。たとえば嚥下（えんげ）障害の患者さんの場合、食事の様子や姿勢などの程度自分で食べられるかなどを聞いて評価をします。それからプログラムを考え、嚥下訓練をするなど、患者さんに合った食形態を提案していきます」

「力任せだと失望しますが、見直しで
に寄り添いながら、最終的に何を目
標にしているのかを確認しながら
接することを心がけています」

A photograph of a dental hygienist with dark hair, wearing a white uniform and a name tag, smiling while holding a dental mirror in one hand and a small white cup in the other.

——メツセージ
「聖隸クリストファー大学は、少人数で先生との距離が近かったので、わからぬことをすぐに相談できる環境でした。国家試験対策も、先生のところに行つて教えてもらつたり、友達と教えあつたりして心強かったです。あとは実習期間が長かったので、現場で実践力を養うこともできました。高校時代は、勉強と遊びのメリハリをつけた生活を送つてください。私は部活も勉強ももなつた3年間だったと思います」
ありがとうございました。



18歳 部活中心の高校生活。リハビリの仕事に興味をもつ。

22歳 聖隸クリストファー大学に進学し、言語聴覚士としての基礎を学ぶ。相手に寄り添うことの大切さを学ぶ。

25歳 患者の目標に合わせてプログラムを組み、日々のリハビリに取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



故障箇所を見て臨機応変な対応を。

この仕事には正解がありません。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校で機械加工や溶接について学ぶ→高校卒業→レザーなどを製造する企業に就職→製造現場を経験し、保全を担当

鈴木壘 さん(1998年生まれ)

浜松工業高校 出身

共和レザー株式会社

浜松市南区東町1876

<https://www.kyowale.co.jp/>

高校生活は部活動漬けの毎日でした。浜松工業高校に進学したのも、強豪校でテニスをやりたかったからです。休みもほぼなく毎日練習。体力と根性、何事にも挫けないメンタルが養われました。あの3年間を乗り越えたと思えば、大抵のことは大丈夫だと思えます。自信にもつながっています。

就職活動について教えてください。

機械科だったので、実習では鉄を加工したり溶接したりしました。文化祭でゴーカートをみんなで作って展示したことも思い出に残っています。高校で学んできた知識をいかせる会社で働きたいと思い、高校卒業後は保全職種で募集していた自動車関係に携わりたいという思いもありました。共和レザーが製造している合成皮革が主に自動車の内装で使われていることを知ったのも決め手のひとつです。自動車部品の中でも、どうせならお客様に直接見られる部分を作りたいという思いました。

——仕事について

当社は、自動車や住宅設備、家具などのウレタン・合皮、塩ビレザーを製造しています。自動車だとヘッドレストや背裏のシートなどの部分です。現在私は、それらを製造する機械を修理する仕事をしています。工場では、ロールの間に材料を通して延するカレンダーという機械や、

「ボタンを押しても機械が動かない、フレームが折れているなど、製造現場からトラブルの連絡がきたら、道具を持って現場に行き、その場で修理をしたり部品交換をして知識をつけていくしかないですね」

——やりがい

「この仕事には正解がありません。故障箇所を見て臨機応変に機械を改善したとき、作業者からの『ありがとうございます』という言葉にやりがいを感じます。これからは、電気分野の知識も深め、オールマイティーになん

事だと思います。高校3年間は、二度と味わうことができない貴重な期間です。今しかできないことに取り組んで、高校生活を楽しんでください！」

ありがとうございました。

表面処理をおこなうグラビアプリントという機械など、様々な機械が動いています。壊れ方も修理の仕方も機械によって違いますし、毎回トラブル内容も違うので1年目は左右もわからず大変でした。経験して知識をつけていくしかないですね」

——メツセージ



18歳 機械加工や溶接について学ぶ。高校卒業後、共和レザーに就職。

19歳 レザーのベースを製造する現場での勤務を経て、保全の部署に配属。

25歳 作業者が働きやすく、製造現場がスマートに動く環境を作ることが私の仕事です」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





益谷 錬さん(2002年生まれ)
焼津水産高校 出身

株式会社新丸正

焼津市三和1384-1
<https://s-marusyo.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校で水産加工や食品衛生について学ぶ→高校卒業→軽機械や削り節などの製造をおこなう企業に就職

「もともと料理が好きで食品に興味があり、焼津水産高校に進学しました。食品科学科で、食品全般に関する知識や衛生管理について学びました。実習で魚をおろし、ツナ缶や海苔の佃煮などを作ったことが印象に残っています。作った缶詰は文化祭で販売し、製造から販売するところまでを経験することができました」

「就職活動について教えてください。」
「学校と企業が一緒になって生徒を育成するデュアルシステムを活用し、新丸正に行く機会がありました。冷凍された鰯が、だしパックや削り節などの製品になる工程を体験し、鰯節に興味をもつたことが就職したきっかけです。急造庫で薪を組んで燃やし、鰯を燻す焙乾(ばいかん)工程の迫力にも惹かれました」

「仕事について」
「研修では、鰯節工場、削り節工場、だしパック工場とすべての工場を経験しました。その後、私は削り節工場に配属。製造ラインに入つて、節を削つて製品にしていく工程を学びました。同じ高校出身の先輩や上司が多かつたので、わからないことなどを相談しやすい環境で安心しました。最初に苦労したのは、削り機の刃の調整(写真上)。刃の調整次第で削り節の厚さが微妙に変わってきます。厚さ0.05mmの花かつおから厚さ1mm前後の厚削りまで、繊細

「私が社の看板商品もある『駿河ふぶき』など、自分が製造した商品がスーパー・マーケットの店頭に並ぶのはうれしいですね。その光景を見ると、『これからも頑張ろう!』という気持ちになります。また、当社の商品は、国内にどまらず、海外に向けても展開をしています。新しい分野に挑戦で

「仕事内容を簡単に教えてください。」
「私の工場では、花かつおなど様々な種類の削り節を製造しています。お客様に使っていただいている、カッパラーメンの粉末スープにも使われているんですよ」

「やりがい」
「高校で食品加工やHACCPなどの衛生管理について学んだことが役に立っています。でも、料理や食に興味がある人であれば、誰でも活躍できる職場だと思います。専門的なことは現場で経験しながら覚えていく感じですね。高校時代にしかできない経験や思い出を今のうちにたくさん作ってください。部活や学園祭に取り組むのもいいと思いますよ」

「お忙しいところ、ありがとうございます。」



18歳 水産加工や衛生管理などを学ぶ。卒業後、新丸正に就職。

19歳 研修ですべての製造工程を経験。研修後、削り節の製造工場に配属。

21歳 海外展開など前に進む会社の姿勢に、モチベーションが上がる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



きることもやりがいのひとつですね

—学生時代

—メリセージ



コーヒーを片手に会話することで
人を喜ばせたい。

鈴木貴治さん(1985年生まれ)

聖隸クリストファー高校 出身
札幌国際大学 社会学部卒業

コーヒーショップ ミハル
浜松市中区田町 328-2
https://www.instagram.com/coffeeshop_miharu/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
 - 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→サッカーコーチや介護職などを経験→コーヒー教室に参加し、コーヒーに興味をもつて→コーヒースタンドをオープン→珈琲豆焙煎所をオープン

「仕事について」

大学卒業後サッカーコーチの仕事をつとめ、ついで関東へ。やり切ったタイミングで地元の介護職に転職しました。自分で立てた目標に向かって突き進みましたが、次の目標が見つからなくなり、興味本位でコーヒー教室に行ってみたらすごく楽しかったんですね。そのことを知らずにまたまた電話をかけてきた友人から、「シェアショップを作りたいんだよね。コーヒー・ショップをやらない?」と言われて。それがこの仕事を始めたきっかけです」

「そのときどきの感覚やリズムを大事にしたくて、週に1度の営業やイベント出店から始めました。そのなかで、「コーヒー片手に人と会話ができるのってやっぱりいいな」と思いました。2020年に覚悟を決めて、浜名湖ガーデンパーク内に「コーヒースタンド『タイムドリップ』」をオープン。「コーヒーの抽出について独学で勉強するなかで、焙煎からこだわってやってみたいと

一
やりがい

「こじんまりとした空間なので、自然とお客様と話すことが多いです。その会話が楽しくて、仕事をモチベーションになってしまいます。コーヒー豆を買ったお客様が感想を後日伝えに来てくれたり『やっぱミハルはいいね』と言って

ですから

やるうえで意識しているのは、必要以上にまわりを気にしそぎないと
いうこと。お店をよりよくするため
にどうしたらいいかを考え、内側
からブラッシュアップしています。

店で出すコーヒーは、基本的に自分
が好きな豆をセレクトしています。
焙煎することでどんなシーノに合
うコーヒーのが映像として浮
かんでくるので、それをお客様に
も伝えるようにしています。お店を

仕事内容を簡単に教えてください
「コーヒーを通じて人を楽しませたい
です。日常的なコーヒーを提供す
る「コーヒー室」をめざして、ます。お



メツセージ

もらえたリ、オリジナルグッズを
買ってくださつたり。どれも本当に
うれしいござります



18歳 小学3年からサッカー漬けの日々。厳しい練習によって基礎体力と忍耐力を身につける。

35歳 コーヒースタンド「タイムドリップコーヒー」をオープン。

38歳 「コーヒーショップ ミハル」をオープン。焙煎やドリンクの提供、オリジナルグッズを制作する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





土橋千沙都さん(1990年生まれ)

清水南高校 出身
国立音楽大学 音楽学部卒業

株式会社ヤマハミュージックマニュファクチャリング

磐田市松之木島203
<https://www.yamaha.com/>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→音楽大学に進学→楽器製造をおこなう企業に入社→楽器の検査と調整をおこなう

——**学生時代**——
母の影響で2歳から近所の音楽教室に通っていました。3歳からピアノを始め、小学5年からフルートを始めました。高校が芸術科音楽専攻だったので、高校生活は音楽漬けの日々。音楽理論・音楽史・ソルフェージュなどに加え、フルートとピアノの演奏技術を学びました。高校卒業後は、自然な流れで国立音楽大学へ。大学はフルートの実技がメインで、楽器をさわらない日がないくらい練習漬けの毎日でした。まわりの学生もフルートを極めようとしている人たちばかりなので、お互いに切磋琢磨しながら練習に取り組みました。ただ吹くだけではなく、体の使い方も考えながら『どうしたらいい音が出るか』を意識して音に対する追求をしていました。

——仕事について——

「自分は将来どうなりたいのかを考えたときに、『会社員として働きたい』『樂器を吹きたい』というふたつの気持ちがありました。そんななかで見つけたのがヤマハでした。樂器を作つて、ヤマハ吹奏楽団で樂器を吹くことができる。そんな会社はなかなかない『ここだ!』と思いつきました」

入社当初について教えてください。

最初はサックスの現場に配属されました。担当したのは、タンボ(木管樂器のトーンホールを塞ぐための部品)を合わせる作業。先輩からは、お客様のことを考えて丁寧に作業することの大切さを教わりました。

「自分は将来どうなりたいのかを考えたときに、『会社員として働きたい』『樂器を吹きたい』というふたつの気持ちがありました。そんななかで見つけたのがヤマハでした。樂器を作つて、ヤマハ吹奏楽団で樂器を吹くことができる。そんな会社はなかなかない『ここだ!』と思いつきました」

——やりがい——

自分が手がけた樂器が世界中のお客様に届き、その樂器で演奏を楽しんでもらえることに夢があり、喜びを感じます。また、私は奏者としてヤマハ吹奏楽団にも所属しています。演奏会後の達成感は

高校卒業後、音楽大学に進学し、よりいっそう音楽漬けの日々を送る。

樂器の製造、演奏に関わることに魅力を感じ、ヤマハに就職。

フルートの最終検査、調整作業を担当し、高品質の樂器製造に取り組む。



18歳

↓

23歳

↓

33歳

高校卒業後、音楽大学に進学し、よりいっそう音楽漬けの日々を送る。

樂器の製造、演奏に関わることに魅力を感じ、ヤマハに就職。

フルートの最終検査、調整作業を担当し、高品質の樂器製造に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



何度も修正を繰り返し、

高品質の樂器をお客様のもとに届ける。

母の影響で2歳から近所の音楽教室に通っていました。3歳からピアノを始め、小学5年からフルートを始めました。高校が芸術科音楽専攻だったので、高校生活は音楽漬けの日々。音楽理論・音楽史・ソルフェージュなどに加え、フルートとピアノの演奏技術を学びました。高校卒業後は、自然な流れで国立音楽大学へ。大学はフルートの実技がメインで、楽器をさわらない日がないくらい練習漬けの毎日でした。まわりの学生もフルートを極めようとしている人たちばかりなので、お互いに切磋琢磨しながら練習に取り組みました。ただ吹くだけではなく、体の使い方も考えながら『どうしたらいい音が出るか』を意識して音に対する追求をしていました。

私たち、日々大量の樂器を取り扱っていますが、お客様にとつて大切な一本になる』という意識は今も忘れていません。

——**仕事内容を簡単に教えてください。**——
現在は、フルートの現場に配属され、中級品の最終検査と高級品での手動検査を簡単に教えてください。

私たち、日々大量の樂器を取り扱っていますが、お客様にとつて大切な一本になる』という意識は今も忘れていません。

現在は、フルートの現場に配属され、中級品の最終検査と高級品での手動検査を簡単に教えてください。

学生時代、打ち込めるものがあるなら、それを追求してほしいです。あとは、たくさん遊んでください。適度な息抜きは必要。気の合う仲間と、たくさん話をしたり楽しい時間を作っているのかがとてもわかりやすく、自分で樂器をカタチにしていくのはやりがいがあると思います。

——**メツセージ**——
樂器が好き、音樂が好きな人であれば、天職になると思います。モノづくりのなかでも、この仕事を何を作っているのかがとてもわかりやすく、自分で樂器をカタチにしていくはやりがいがあると思います。

**自動車の整備を通して、お客様が
安全に楽しく車を運転できる状態に。**



なるためには

- 必要資格 / 自動車整備士
- 主な進路 / 高校卒業→自動車整備士課程のある短大に進学
→2級自動車整備士資格を取得→自動車販売店に就職

平野 稔季 さん (2000年生まれ)

学校法人倉橋学園キラリ高校 出身
愛知工科大学自動車短期大学 卒業

株式会社ホンダカーズ浜松

浜松市東区和田町738(本社)
<https://www.hondacars-hamamatsu.co.jp/>

「高校時代将来のビジョンは特に
もっていませんでした。進路を選ん
だのは、高校の先生のアドバイスが
きっかけです。自動車整備士の国家
資格がとれて、働き場所にも困らな
いところに惹かれ、愛知工科大学自
動車短期大学に進学しました。もと
もと機械をさわることが好きだった
こともあります。単純に楽しそう
だなって思いました」

「**短大時代について教えてください。**

1年次は、自動車の仕組みや整備
技術などの基礎を学ぶ期間です。工
具の解体して組み立てたり、
エンジンを解体して組み立てたり、
インパクトレンチやドライバーな
どで工具や故障診断機の取り扱い
について学んだりしました。2年
次からは、より高度で実務的な学び
になります。車検の流れや、
エンジンがかかるなどのトラブル
シートの基礎を学びました。

自動車整備にやりがいを感じてい
たので、授業は全部楽しかったです
ね。国家試験に合格して2級自動車
整備士を取得し、ホンダカーズ浜松
に就職しました」

「**仕事について**

入社後は、「言葉つかいや所作など、
基本的な社会人としてのマナーを
学びました。働くなかで、お客様の大
切な車を扱うことに対する責任感も
芽生えました」

「**仕事内容を簡単に教えてください。**

私たち、「自動車のお医者さん」と
よく言われます。人間ドックの定期的
な点検をおこない、ブ

かりやすくすることです。現在自
動車がどういう状態で、どのような
修理が必要なのかを専門用語を使
わずに伝えるようにしています」

「**やりがい**

「お客様に『ありがとうございます』
など、お礼を言つてもらえたとき
が一番嬉しいです。数日かけておこ
なうような大きな修理の場合、完了
した瞬間は達成感がありますね。現
在は、ホンダ社内の技術資格である
サービスエンジニア2級に挑戦し
ています。もっと経験を積み、技術
力を高めていきたいです」

—学生時代

「高校時代将来のビジョンは特に
もっていませんでした。進路を選ん
だのは、高校の先生のアドバイスが
きっかけです。自動車整備士の国家
資格がとれて、働き場所にも困らな
いところに惹かれ、愛知工科大学自
動車短期大学に進学しました。もと
もと機械をさわることが好きだった
こともあります。単純に楽ししそう
だなって思いました」

「**短大時代について教えてください。**

1年次は、自動車の仕組みや整備
技術などの基礎を学ぶ期間です。工
具の解体して組み立てたり、
エンジンを解体して組み立てたり、
インパクトレンチやドライバーな
どで工具や故障診断機の取り扱い
について学んだりしました。2年
次からは、より高度で実務的な学び
になります。車検の流れや、
エンジンがかかるなどのトラブル
シートの基礎を学びました。

自動車整備にやりがいを感じてい
たので、授業は全部楽しかったです
ね。国家試験に合格して2級自動車
整備士を取得し、ホンダカーズ浜松
に就職しました」

「**仕事内容を簡単に教えてください。**

私たち、「自動車のお医者さん」と
よく言われます。人間ドックの定期的
な点検をおこない、ブ

—メッセージ

「養成課程のある学校に進学し、整
備の知識や技術を学んで就職する
のが一般的ですね。実際、自動車整
備すべての土台を作ったことが大
きかったと感じています。私は2級
自動車整備士を取得して就職しま
したが、愛知工科大学自動車短期大
学では、1級自動車整備士を取得す
るために愛知工科大学へ3年次編
入する学生も多いですよ。学生時代
は、意外とあつという間に終わって
しまいます。勉強も大切、遊びも大
切。友達との時間も大切にして、思
い出をたくさん作ってください!」



18歳 先生のアドバイスがきっかけで、愛知工科大学自動車短期大学に進学。

21歳 自動車整備の基礎を学ぶ。2級自動車整備士の資格を取得し、ホンダカーズ浜松に就職。

23歳 よりよいサービスを提供できるよう、経験を積みながら技術を高める。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



**畑が7割、製造技術が3割。
味を変えないための努力を惜しまない。**

なるためには



●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→パン工場で働く→家業(老舗茶葉専門店)を継ぎ、4代目としてお茶の栽培から製造まで一貫しておこなう

萩原裕さん(1985年生まれ)

浜松城北工業高校 出身

株式会社お茶の光緑園

浜松市北区東三方町235-11

<http://www.kouryokuen.net/>

ー学生時代

「幼いながらも、いすれ家業である老舗茶葉専門店を継ぐことになるだろうと思つっていました。機械に携わっていたほうが将来の役に立つんじゃないかと思い、浜松城北工業高校に進学。高校時代はサッカーに熱中しました。どうやつて攻めるのが、守るのかを教えてもらいたくてコーチに相談したら『めちゃめちゃ簡単だよ。ボールをゴールに決めたら勝ち』と言われたんです。当時の自分にとってその言葉を咀嚼する時は難しかったですが、今思えば『客観的に見れば難しいことはしない』と伝えたかったんではしゃう。こん詰めすぎるとよくないと学びになりました」

ー仕事について

「就職活動時、求人票を見るとほとんどの自動車関係の企業で、その中にひとつだけパンと書いてあつたんですね。妙に惹かれて、パンを作る工場で1年ほど働きました。その後、家庭の事情で家業を手伝うことになります。お茶の光緑園で働きはじめた1からお茶について学びました。お茶のことを大体わかるようになりますに10年くらいはかかります」と言われたとき、正直挫折しそうでした…。でも、その都度わからないことを聞くことで、「だからこうなるんだ」と理解できて仕事が楽しくなりました」

「お茶に対する、敷居が高いイメージをもつ方が多くいると思います。

「おいしいお茶を作つて、お客様が喜んでくれる」と言つてくれます。これが一番の核になっています。イベント出店で新しいつながりができる、「お茶の教室をやってくれませんか?」とお声がけいただくこともあります。お茶仲間のおかげで活動の幅が広がつてくれていますね」

ーメッセージ

「学生のみなさんの可能性は無限大です。今やりたいことが見つかっておこなっています。「畑が7割、製造技術が3割」というのが父のモットーであり会社のモットーです。肥料を毎年作っています」

「いつも買ってくださるお客様のため、味を変えないように意識しています。先代のスタイルを崩さない一方で、現代のニーズに合わせて変化を加えることも大事」「お茶の新たな扉を開きましょう」という意志のもと集まつた仲間と一緒にイベント出店したり、サウナのイベントでロウリュをお茶でやつたりもしています。アレンジドリンクを作るときは、満場一致でメンバーが認められた商品をメニューにしています。みんなでお茶業界を盛り上げていきたいですね!」



18歳 サッカーに熱中する。こん詰めるとよくないとコーチから学ぶ。

20歳 家業の手伝いを始める。父からお茶について1から教わる。

38歳 お茶の光緑園4代目として、お茶の栽培から販売まで一貫しておこなう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



ありがとうございました。

「おいしい!」と言つてくれる。これが一番の核になっています。イベント出店で新しいつながりができる、「お茶の教室をやってくれませんか?」とお声がけいただくことがあります。お茶仲間のおかげで活動の幅が広がつてくれていますね」



齊藤一輝さん(1989年生まれ)
静岡県北高校 出身
織田ファッショントランク専門学校 卒業

HEIGHTS
静岡市葵区鷹匠1-10-12
https://www.instagram.com/yes_heights/

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→ファッショントランク専門学校に進む
→服屋に勤務し、店長を経験→独立して自分のお店を開く

小学6年生のころから音楽に傾倒し、その人たちの服装を真似したのが『ファッショニヨン』というもの』を意識したきっかけですね。姉が貰ってきたハイスタンダードに衝撃を受けたのが中学のとき。高校のころは、いろんな音楽を掘り下げて聴いていた感じです。音楽が好きだったし、その延長でファッショントランクに進みました。卒業後、東京の織田ファッショントランク専門学校に進みました。『やっぱ東京だろ!』っていう浅はかな考えだったんですけど(笑)。

専門時代のことを教えてください。

「ファッショントランクビジネス科だったのですが、服の作り方というよりは、自分でコレクションの企画や発案をする勉強が中心でした。アパレル会社に入ったときのことを想定し、企画をプレゼンする練習などもありましたね。地元静岡を盛り上げたいという思いもあり、卒業後は、地元に戻って古着屋で働きはじめました」

——仕事について

「3年間、店長を経験しました。どうやって商品を仕入れ、家賃を払つてお店を経営していくか」を肌で感じられたのは、HEIGHTSを始めた現在とでも役立っています。

「やりがいを感じるのは、共感できたりしてます。自分がカッコイイとかカワいいと思って提案したアイテムをお客さんが同じように思ってくれた瞬間は本当にうれしいです。服を買うだけなのに、ストレス解消というか、お客様が幸せな表情をする瞬間があるんです。それを見たときは僕も幸せを感じます」

——やりがい

「やりがいを感じるのは、共感できたりしてます。自分がカッコイイとかカワいいと思って提案したアイテムをお客さんが同じように思ってくれた瞬間は本当にうれしいです。服を買うだけなのに、ストレス解消というか、お客様が幸せな表情をする瞬間があるんです。それを見たときは僕も幸せを感じます」

小学6年生のころから音楽に傾倒し、その人たちの服装を真似したのが『ファッショニヨン』というもの』を意識したきっかけですね。姉が貰ってきたハイスタンダードに衝撃を受けたのが中学のとき。高校のころは、いろんな音楽を掘り下げて聴いていた感じです。音楽が好きだったし、その延長でファッショントランクに進みました。卒業後、東京の織田ファッショントランク専門学校に進みました。『やっぱ東京だろ!』っていう浅はかな考えだったんですけど(笑)。

専門時代のことを教えてください。

「ファッショントランクビジネス科だったのですが、服の作り方というよりは、自分でコレクションの企画や発案をする勉強が中心でした。アパレル会社に入ったときのことを想定し、企画をプレゼンする練習などもありましたね。地元静岡を盛り上げたいという思いもあり、卒業後は、地元に戻って古着屋で働きはじめました」

——仕事について

「3年間、店長を経験しました。どうやって商品を仕入れ、家賃を払つてお店を経営していくか」を肌で感じられたのは、HEIGHTSを始めた現在とでも役立っています。

「やりがいを感じるのは、共感できたりしてます。自分がカッコイイとかカワいいと思って提案したアイテムをお客さんが同じように思ってくれた瞬間は本当にうれしいです。服を買うだけなのに、ストレス解消というか、お客様が幸せな表情をする瞬間があるんです。それを見たときは僕も幸せを感じます」

——メソセージ

「専門学校を選ぶときは、『服を作る人になりたいのか?』、『自分のお店を開きたいのか?』によって進む科を決めた方がいいですよ。僕は地元でアパレルショップを開きたいと思っていたので、デザイン科ではなんもかも続けられれば問題ありませんよ!」

優しくしてほしい。あとは、『服が好き!』っていう気持ちだけ! それまでアパレルショップを開きたいと思っていたので、デザイン科ではなんもかも続けられれば問題ありませんよ!

僕の仕事です。流行を把握するため、雑誌を読んだり、ほかのお店に行ったりしてマーケットリサーチをしています。それをもとに、時代に合わせてトレンドのモノを扱つか、ちょっと早くめにもつてくるか、あとでトレンドの真逆に外すとか、僕の仕事です。流行を把握するため、雑誌を読んだり、ほかのお店に行ったりして買い物付けてきます。いつも工夫をして店内を構成しています

——仕入れについて教えてください。

「展示会に行つたりアメリカを回つたりして買い物付けてきます。いつも気をつけているのは、タグを見ない。ネームバリューに惑わされないようにして、見た目と素材感、デザインで判断するようにしています」

——お忙しいところ、ありがとうございます。

小学生のころから音楽に傾倒し、その延長でファッショントランクに興味をもつ。

古着屋の店長を3年間経験したのち、「HEIGHTS」をオープン。

静岡にカッコイイ人を増やしたいという思いをもち、日々の仕事に励んでいます。

「やりがいを感じるのは、共感できたりしてます。自分がカッコイイとかカワいいと思って提案したアイテムをお客さんが同じように思ってくれた瞬間は本当にうれしいです。服を買うだけなのに、ストレス解消というか、お客様が幸せな表情をする瞬間があるんです。それを見たときは僕も幸せを感じます」



18歳

小学生のころから音楽に傾倒し、その延長でファッショントランクに興味をもつ。

23歳

古着屋の店長を3年間経験したのち、「HEIGHTS」をオープン。

34歳

静岡にカッコイイ人を増やしたいという思いをもち、日々の仕事に励んでいます。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

市民のみなさんの日常生活に関わり、日々の生活を支える仕事。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→企業経営について学ぶ
→各自治体の採用試験に合格→市役所に入庁→市民課国保年金係に配属

川島一斗さん(1996年生まれ)

掛川東高校 出身
愛知学院大学 経営学部卒業

菊川市役所

菊川市堀之内61
<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/>

高校時代はサッカー部に所属し、部活に明け暮れる日々でした。朝から夜まで部活。スタメンではありませんでしたが、陰で左足の練習をしていました様子を監督が見てくれていて、「左は武器になる」と言つて左サイドで使ってくれたときは嬉しかったですね。地道な努力から自分の武器が生まれることを実感しました。当時将来のビジョンはまったくなく、人の役に立つ仕事がしたいた漠然と考えている程度。高校卒業後は、愛知学院大学の経営学部に進学しました

大学時代について教えてください。

「会計コースを選択し、簿記や企業分析などを学びました。企業の経営状況を数値として分析するための決算書や財務諸表の見方なども学びました。いつかは地元に戻ろうという思いがあったので、大学卒業後は、縁があった菊川市役所に就職。大学のキャリアセンターでは、小論文対策や面接対策をサポートしてもらいました。公務員試験は内容が独特なので心強かったです」

「**ー仕事について**

「市役所の窓口に来る方は、何かしら不安を抱えている方が多いので、まずは、「相手が何を聞きたいのか」「どのような不安があるのか」に耳を傾けてあげることが大切だと教わりました。市役所の仕事は、住民登録や福祉、道路や水道などのインフラ関係など、市民のみなさんの日常生活すべてに関わっています。

「**ーやりがい**

「窓口業務が多いので、対応に対しても『ありがとうございます』といった、来庁者から直接かけていただけの言葉にやりがいを感じます。高齢の方だと孫のように可愛がってくれることも笑)。市民の方とのふれあいのなかで、みなさんの生活の役に立てて

いることを実感できます」

「私は、市民課国保年金係に配属されました。国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療保険など、保険や制度の知識は入庁後に勉強しました。高齢の来庁者が多いので、最初は接し方に気を使いました。敬語が多めで、高齢の方と接するときには、医療保険関係の相談で来庁する方が多いです。自営業者や高齢者の方へ保険証の発行や、急な入院などで高額な医療費がかかったときに利用できる医療制度の案内などを担当しています」

「様々なご意見をいただきので、みなさんの意見が少しでも反映されるよう仕事を進めています」



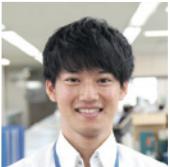
ー学生時代

「高校時代はサッカー部に所属し、部活に明け暮れる日々でした。朝から夜まで部活。スタメンではありませんでしたが、陰で左足の練習をしていました様子を監督が見てくれていて、「左は武器になる」と言つて左サイドで使ってくれたときは嬉しかったですね。地道な努力から自分の武器が生まれることを実感しました。当時将来のビジョンはまったくなく、人の役に立つ仕事がしたいた漠然と考えている程度。高校卒業後は、愛知学院大学の経営学部に進学しました」

「私は、市民課国保年金係に配属されました。国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療保険など、保険や制度の知識は入庁後に勉強しました。高齢の来庁者が多いので、最初は接し方に気を使いました。敬語が多めで、高齢の方と接するときには、医療保険関係の相談で来庁する方が多いです。自営業者や高齢者の方へ保険証の発行や、急な入院などで高額な医療費がかかったときに利用できる医療制度の案内などを担当しています」

ーメッセージ

「市役所の職員になるためには、各自治体の採用試験に合格する必要があります。大学の対策講座やキャラセンターのサポートもあるので利用してみてください。まずは、働きたい土地について調べることが大事。その土地のことを知っているといいサービスは提供できますからね。そして、社会全体にもアンテナを張って世の中で何が起きているかを知ることも大切です。学生時代は熱中できるものを見つけてください。それがあるだけで、自分の強みになりますよ」



18歳

部活に励む毎日。地道な努力から自分の武器が生まれることを実感する。

↓
22歳

愛知学院大学に進学。簿記や企業分析などを学ぶ。

↓
27歳

菊川市役所に勤務。日々の仕事を通じて、市民のみなさんの生活を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

